

被爆
70
周年



「美しい川づくり」将来ビジョン

－水の都の象徴的な空間づくり－

目次

1	はじめに	・・・ 1 頁
2	美しい川づくりの目標と方針	・・・ 2 頁
3	美しい川づくりの取組	・・・ 3 頁
4	各取組の内容	・・・ 4 - 5 頁
5	将来イメージ	・・・ 6 - 7 頁

平成27年6月
広島県・広島市

1 はじめに

「水の都」を標榜する本市にとって、市域内を流れる河川は、「広島らしさ」を発信するための重要な資産です。「本市の宝」として、治水の観点からだけでなく、まちづくりの観点から、川づくり・水辺づくりを進め、その魅力を最大限に引き出すことが求められます。これまでも、国・県・市が連携して、「水の都ひろしま」構想を策定し（平成15年1月）、水辺等における新たな都市の楽しみ方の創出、都市観光の主要な舞台づくり及び水の都にふさわしい個性と魅力ある風景づくりを目指して種々の取組を実施してきました。

中でも、広島駅前を流れる猿猴川やこの周辺は、古くから京へと続く往来の要衝として、宿場や屋台などのにぎわいを生み出してきました。現在でも、広島駅周辺地区において再開発が進められ、広島の活力やにぎわいを創出する都心としての役割を担うことが期待されています。

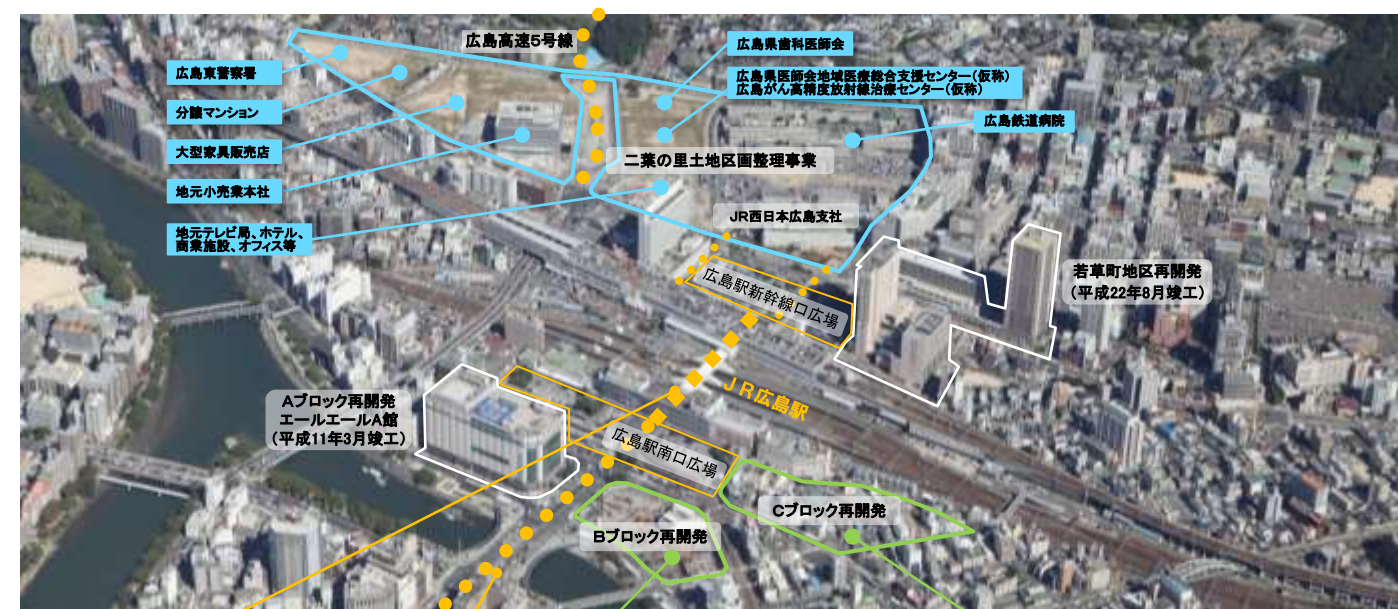
加えて、猿猴川は広島駅を利用して広島を訪れた者が最初に目に触れる河川であり、この周辺は「広島らしさ」を発信する絶好のエリアです。そこで、今回、広島駅周辺地区の水辺を、水の都の玄関口にふさわしい、広島の象徴的な空間とするため、河川管理者である広島県と連携し、「美しい川づくり」に取り組むことにしました。

本ビジョンは、長期的な視点に立った「美しい川づくり」の方針やその実現に向けた取組を示すとともに、広島駅周辺地区の水辺の将来イメージを示すものです。

＜参考＞広島駅周辺地区における都市づくりの取組

広島市は、広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の東西の核と位置付け、それぞれが活力とにぎわいのエンジンをもち、相互に刺激し高め合うような「楕円形の都心づくり」を推進しています。

広島駅周辺地区は、国内外から広島を訪れる人を迎える広島の陸の玄関であるとともに広島を印象付ける重要なエリアです。現在、都心の東の核にふさわしい「まち」への再生に向けて、南口B・Cブロックや二葉の里地区などの開発、広島駅自由通路の整備などの交通ネットワークの充実を図るための取組が進められています。



路面電車の駅前大橋ルート



広島駅から稲荷町交差点方面を望む



(提供：広島駅南口Bブロック市街地再開発組合)

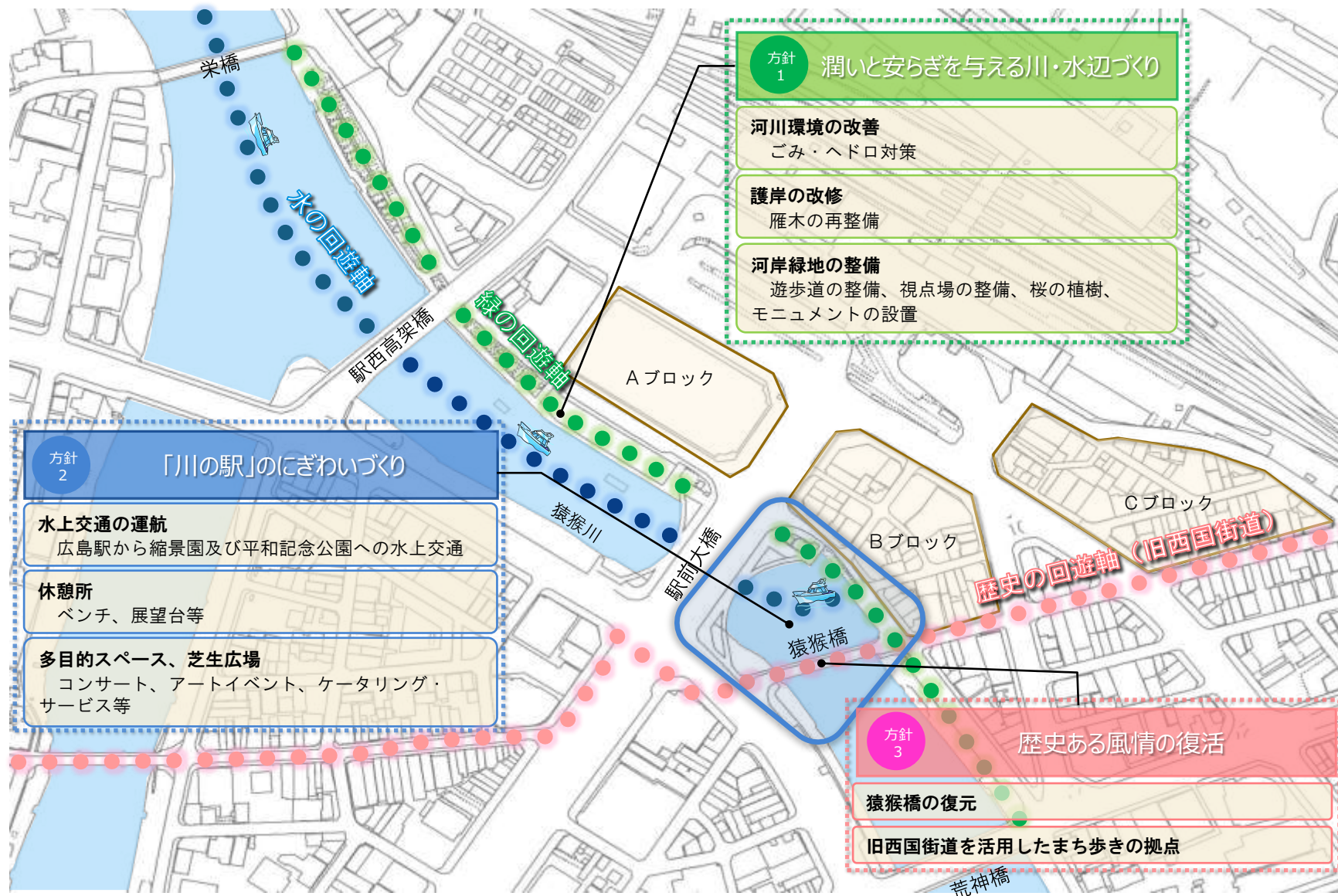
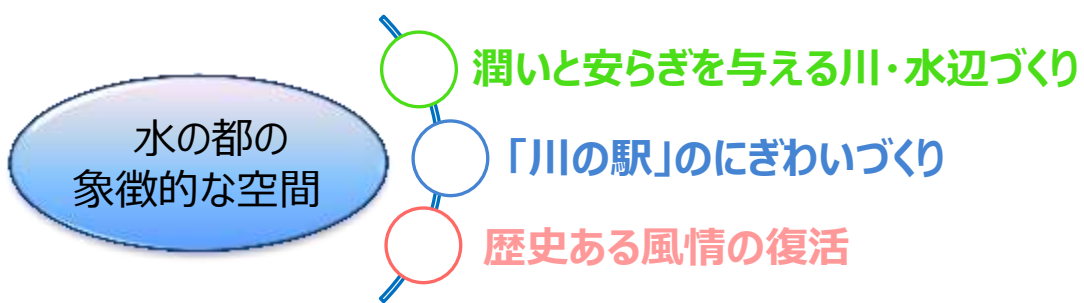


(提供：広島駅南口Cブロック市街地再開発組合)

2 美しい川づくりの目標と方針

(1) 基本目標

広島を訪れた人々が、河岸あるいは船上から美しい川や歴史ある橋を眺め、広島の人が都心においても自然に囲まれ、素敵な空間に暮らしていることを実感できる、「水の都の象徴的な空間」としての水辺づくりを目指す。



「美しい川づくり」の方針図

(2) 基本方針

方針 1 潤いと安らぎを与える川・水辺づくり

緑の回遊軸

都心において人々の生活に潤いと安らぎを与える、水と緑を生かした川・水辺づくりをします。

猿猴川を「水の都」にふさわしい河川環境に改善し、広島の河岸の特徴といえる雁木を再整備します。

河岸緑地には川をゆったりと望みながら歩くことができる遊歩道や休憩所等を整備し、四季を感じる桜を植樹します。

また、平和をテーマにしたモニュメントの設置など、広島らしい個性ある水辺空間として整備します。

方針 2 「川の駅」のにぎわいづくり

水の回遊軸

水上交通の発着点を、広島らしさを発信する「川の駅」とし、にぎわいを創出します。

広島駅（Bブロック）前から国の名勝「縮景園」や世界文化遺産「原爆ドーム」のある平和記念公園行きの上水交通を運航します。

また、通常では出会うことのない広島の人と観光客が顔を合わせ、交流する場として、駅前大橋から猿猴橋までの間に休憩所や多目的スペース等を整備し、このエリア全体が「川の駅」としての機能を発揮するようにします。

さらに、猿猴川とその水辺の利活用を促進するため、市民、企業、行政が連携して取り組むための仕組みづくりを進めます。その仕組みにおいて、河岸緑地の良好な環境を維持するとともに、川・水辺を利用して広島らしさを発信するイベントや催し物等を開催し、にぎわいを創出します。

方針 3 歴史ある風情の復活

歴史の回遊軸

交通の要衝として栄えた当時の風情を復活します。

被爆70周年を契機として、広島のみちの復興を見届けてきた猿猴橋を、大正時代の竣工当時の姿に復元し、新たな観光資源とします。

また、旧西国街道を活用して、「川の駅」を紙屋町・八丁堀地区へのまち歩きの拠点とします。

3 「美しい川づくり」の取組

(1) 取組範囲

駅西高架橋から荒神橋までの猿猴川及び栄橋から荒神橋までの河岸

(2) 取組期間

- 集中的な取組（駅前大橋～猿猴橋）：平成28年度まで
- 中長期的な取組（栄橋～駅前大橋、猿猴橋～荒神橋）：平成30年代半ばまで

(3) 取組内容



取組項目	集中的な取組	中長期的な取組
河川環境の改善	●	○
護岸の改修	■	■
猿猴橋の復元	⇔	
河岸緑地の整備	////	////
河岸緑地の利活用		▭
駐輪場移設の検討		▨
水上交通との連携		—
河川環境の維持管理		○

周辺の整備例

例) 雁木タクシー

水上交通との連携
広島駅 - 縮景園 - 平和記念公園

河川環境の改善
河川環境の維持管理

河岸緑地の整備
河岸緑地の利活用

護岸の改修 (雁木の再整備)

猿猴橋の復元

猿猴川左岸 (Aブロック下流側)

猿猴川左岸 (猿猴橋～荒神橋)

石炭灰造粒物の散布

石炭灰造粒物

しゅんせつ

イメージ

イメージ

イメージ

イメージ

4 各取組の内容 - 集中的な取組 -

1 河川環境の改善

潤いと安らぎを与える川・水辺づくり

広島駅周辺地区の猿猴川は、ヘドロ状の底質が堆積しており、干潮時には露出するため、景観上の問題となっています。

このため、駅前大橋から猿猴橋までの間において、しゅんせつ及び石炭灰造粒物の散布を実施します。集中的な取組では、まず、ヘドロ状の底質のしゅんせつを行います。

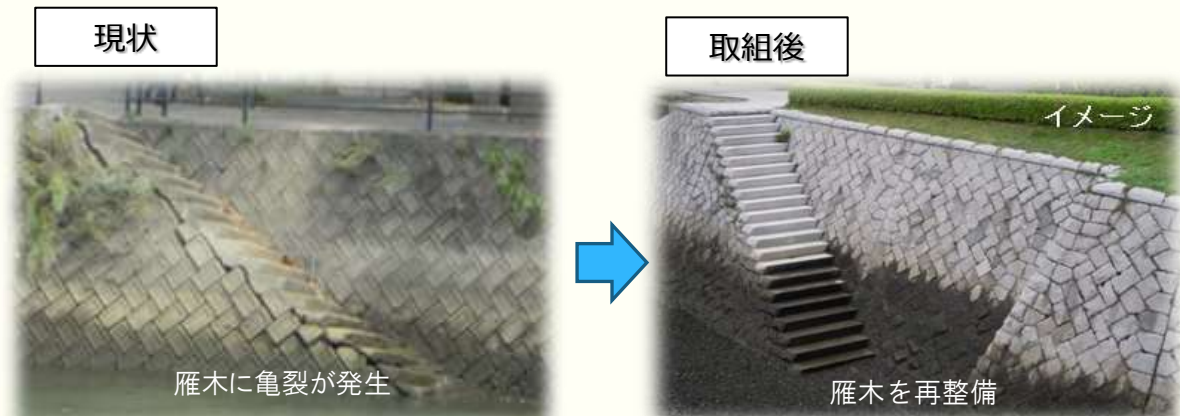
施工方法	具体的な内容
しゅんせつ	干潮時に露出するヘドロ状の底質を掘削・除去します。  イメージ
石炭灰造粒物の散布	ヘドロ状の底質を浄化するため、掘削した箇所の上に石炭灰造粒物※を散布します。 ※火力発電所から出る石炭灰に少量のセメントを混合して粒状にしたもの  イメージ 石炭灰造粒物

2 護岸の改修

潤いと安らぎを与える川・水辺づくり

現在、駅前大橋から猿猴橋の間の猿猴川の河岸には、河床に降りることができる雁木がありますが、雁木に亀裂が生じるなど、老朽化が進行しています。

このため、水上交通の乗降場として活用するための護岸の整備、景観及び安全上の観点から、雁木の再整備を行います。



3 河岸緑地の整備

潤いと安らぎを与える川・水辺づくり

「川の駅」のにぎわいづくり

水上交通、水辺の遊歩道、旧西国街道の結節点となる駅前大橋から猿猴橋までの区間について、ウッドデッキ等を使用した、デザイン性の高い緑地整備を実施します。

河岸緑地では、イベント等に使用できる多目的スペースや芝生広場を設けるとともに、水上交通を待つ観光客や公園を訪れる人が出会い、憩う空間となる休憩所を設け、「川の駅」としての機能を持たせます。

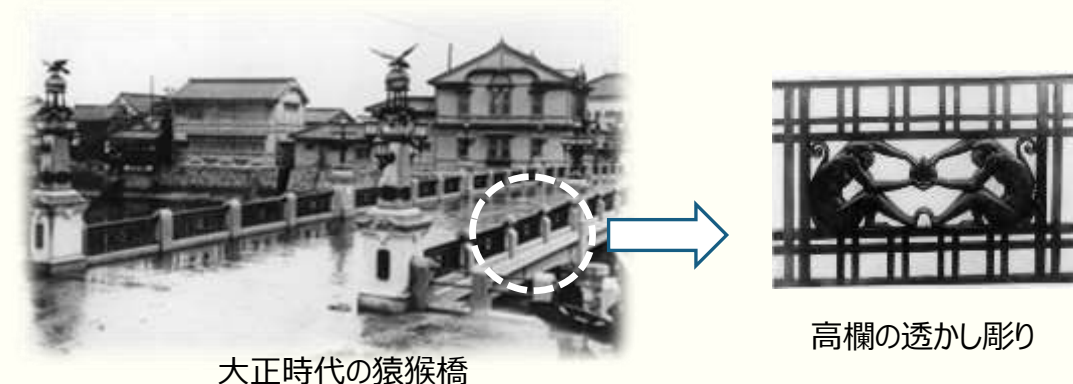


4 猿猴橋の復元

歴史ある風情の復活

被爆橋の一つである猿猴橋には、電飾や鋳物の透かし彫りなど豪華な装飾が施されていましたが、戦時下に発せられた金属回収令により、全ての装飾品が供出されました。この度、被爆70周年を契機に、猿猴橋を大正時代の竣工当時の姿に復元することで、新たな都市の魅力を発信します。

この事業は、被爆後の広島の復興を見届けてきた猿猴橋の一部を復元し後世に伝えようと、地元で募金活動が行なわれていることから、その取組と連携して、市民と公共の協働によるまちづくりを進めるものです。



4 各取組の内容 - 中長期的な取組 -

1 河川環境の改善

潤いと安らぎを与える川・水辺づくり

駅前大橋から猿猴橋の区間は、集中的な取組によりしゅんせつした後、砂・泥等の堆積状況をモニタリング調査の上、石炭灰造粒物を散布します。

加えて、駅西高架橋から駅前大橋、猿猴橋から荒神橋の区間は、集中的な取組で実施した範囲における河川環境の改善の効果を踏まえて、実施を検討します。

2 水上交通との連携

「川の駅」のにぎわいづくり

水上交通事業者等との調整を進め、広島駅（Bブロック）前から国の名勝「縮景園」や世界文化遺産「原爆ドーム」のある平和記念公園行きの水上交通の運航を検討します。

3 河岸緑地の整備

潤いと安らぎを与える川・水辺づくり

栄橋から駅前大橋及び猿猴橋から荒神橋までの区間を、都心において人々の生活に潤いと安らぎを与える、水と緑を生かした川・水辺づくりをします。

(1) 水辺で憩うエリア

＜栄橋から駅西高架橋周辺の区間＞

駐輪場の移設後、植樹やベンチ等の設置を行い、京橋川と猿猴川の分流点を眺め、人々が憩うことができる視点場を整備します。



京橋川と猿猴川の分流点



猿猴川左岸（Aブロック前下流側）

(2) 平和を共有するエリア

＜Aブロック前（一部整備済）＞

平和をテーマとしたモニュメントを設置するなど、市民や広島を訪れた人が平和への思いを共有できる空間にします。



猿猴川左岸（猿猴橋～荒神橋）

(3) 桜を楽しむエリア

＜猿猴橋から荒神橋の区間（一部整備済）＞

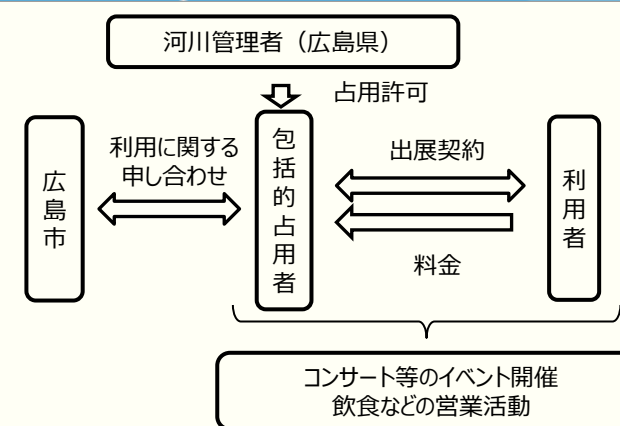
仮設店舗撤去後に桜の植樹やインターロッキングブロックの設置等を行い、桜の並木を整備します。

4 河岸緑地の利活用

「川の駅」のにぎわいづくり

河岸緑地を民間事業者等に包括的に占用させ、この包括的占用者又は出展契約を結んだ他の民間事業者によって、当該地域のにぎわいを創出するために、コンサート等のイベント開催や飲食などの営業活動ができるような仕組みづくりを行います。

また、包括的占用者は利用者から料金を徴収し、その収入の一部で河岸緑地の清掃や簡単な維持管理を行います。

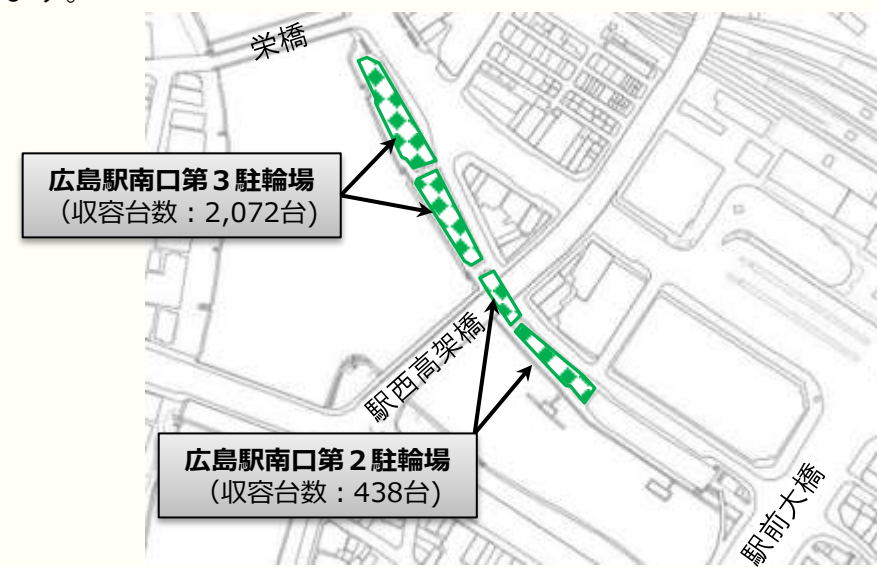


5 駐輪場移設の検討

潤いと安らぎを与える川・水辺づくり

広島駅南口第2駐輪場、第3駐輪場の撤去に向けて、広島駅周辺地区内の民有地等や今後計画が予想される新たな再開発事業で建設されるビル内、同地区内の既存ビル内などへの駐輪場の移設を検討します。

現行の駐輪場の収容台数を考えると、複数にわたる移設先を確保する必要があることや、駐輪場の整備に合わせて順次移設していく必要があり、移設が完了するまでには長期間を要することから、それまでの間は周辺景観に配慮した現行駐輪場の修景も検討します。



6 河川環境の維持管理（美しい川づくりの普及啓発）

潤いと安らぎを与える川・水辺づくり

「川の駅」のにぎわいづくり

河川環境の改善後、住民、NPO、企業、行政などが一体となって、「水の都」の魅力を高めていきます。

具体的には、包括的占用者（「4 河岸緑地の利活用」参照）と連携して、良好な河川環境の保全を推進するための清掃活動や「美しい川づくり」に係る普及啓発イベント等を検討します。

5 将来イメージ - 全体イメージ -



5 将来イメージ - 「川の駅」のイメージ -

